

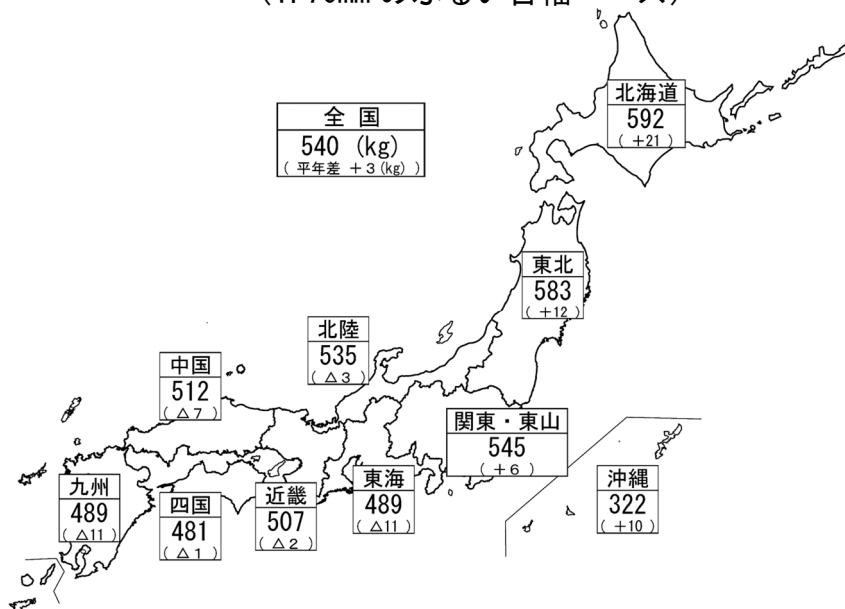
作物統計調査 令和6年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量

— 全国の10a当たり予想収量は540kgの見込み —

【調査結果の概要】

- 1 令和6年産水稻の作付面積（子実用）は135万9,000ha（前年産に比べ1万5,000ha増加）となった。うち主食用作付面積は125万9,000ha（前年産に比べ1万7,000ha増加）となった。
- 2 10月25日現在における全国の10a当たり予想収量は540kgと見込まれる。
これは、全国的にはおおむね天候に恵まれたためである。なお、一部地域で5月下旬から6月上旬にかけての低温や6月下旬から7月中旬にかけての断続的な日照不足、8月以降の記録的な高温等の影響により収量が低下した。
- 3 以上の結果、予想収穫量（子実用）は734万5,000t（前年産に比べ18万t増加）と見込まれる。このうち、主食用の予想収穫量は679万2,000t（前年産に比べ18万2,000t増加）と見込まれる。
- 4 農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の作況指数は101と見込まれる。

図1 全国農業地域別10a当たり予想収量（10月25日現在）
（1.70mmのふるい目幅ベース）



- 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積であり、主食用作付面積とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である（9ページの【参考1】参照）。
- 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、収穫を終えた地域では刈取り実測による結果であるが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定した結果である。したがって、今後の気象条件等により変動することがある。

◎ 累年データ

水稻の年次別推移（全国）

年 産	作 付 面 積 (子 実 用)	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量 (子 実 用)	主食用 作付面積	収穫量 (主食用)	作況指数
	ha	kg	t	ha	t	
平成16年産	1,697,000	514	8,721,000	...	...	98
17	1,702,000	532	9,062,000	...	...	101
18	1,684,000	507	8,546,000	...	...	96
19	1,669,000	522	8,705,000	...	...	99
20	1,624,000	543	8,815,000	1,596,000	8,658,000	102
21	1,621,000	522	8,466,000	1,592,000	8,309,000	98
22	1,625,000	522	8,478,000	1,580,000	8,239,000	98
23	1,574,000	533	8,397,000	1,526,000	8,133,000	101
24	1,579,000	540	8,519,000	1,524,000	8,210,000	102
25	1,597,000	539	8,603,000	1,522,000	8,182,000	102
26	1,573,000	536	8,435,000	1,474,000	7,882,000	101
27	1,505,000	531	7,986,000	1,406,000	7,442,000	100
28	1,478,000	544	8,042,000	1,381,000	7,496,000	103
29	1,465,000	534	7,822,000	1,370,000	7,306,000	100
30	1,470,000	529	7,780,000	1,386,000	7,327,000	98
令和元	1,469,000	528	7,762,000	1,379,000	7,261,000	99
2	1,462,000	531	7,763,000	1,366,000	7,226,000	99
3	1,403,000	539	7,563,000	1,303,000	7,007,000	101
4	1,355,000	536	7,269,000	1,251,000	6,701,000	100
5	1,344,000	533	7,165,000	1,242,000	6,610,000	101
6（概数値）	1,359,000	540	7,345,000	1,259,000	6,792,000	101

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積である。

2 10 a 当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量（令和6年産は予想）である。

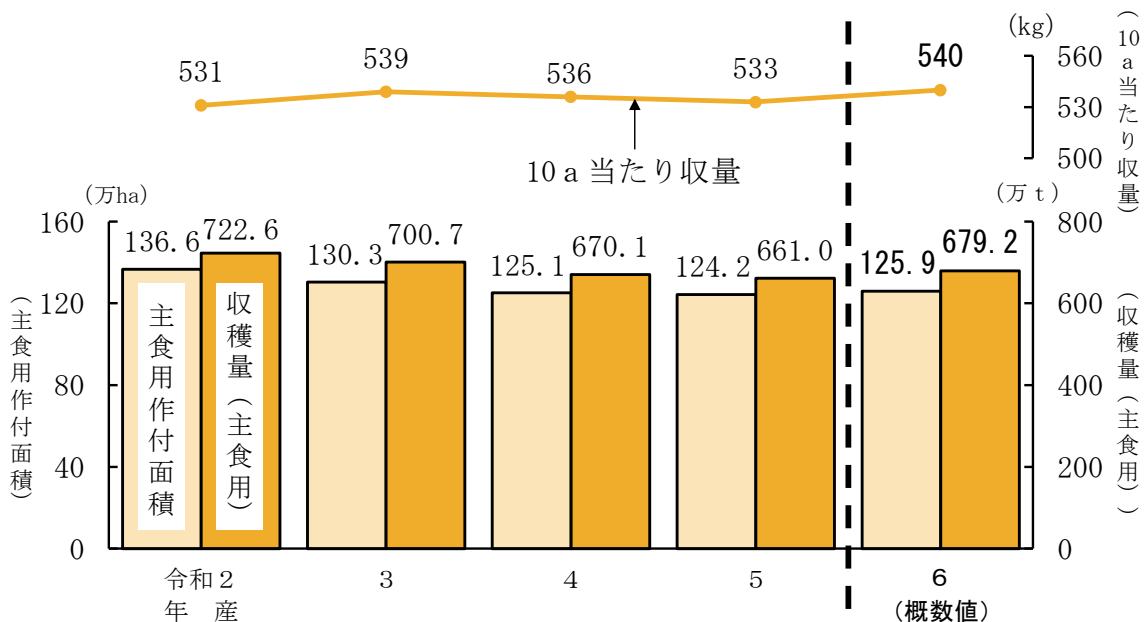
3 主食用作付面積とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。

4 作況指数は、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり収量の比率であり、以下により算出している。

平成26年産以前 : 1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出。
 平成27年産から令和元年産まで : 全国農業地域ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅で選別された玄米を基に算出。
 令和2年産以降 : 都道府県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出。

5 「…」は、事実不詳又は調査を欠くことを示している。

水稻の主食用作付面積、10 a 当たり収量及び収穫量（主食用）の推移（全国）



注：10 a 当たり収量及び収穫量は、1.70 mmのふるい目幅で選別された玄米の重量（令和6年産は予想）である。

水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、10a 当たり収量及び収穫量（子実用）

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合 45%）以上に相当するよう、ふるい目幅 1.70mm で選別された玄米の重量（未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。）としている（10 ページ【参考 2】参照）。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別 10a 当たり収量及び収穫量（子実用）の概数値を示すと次のとおりである。

表 1 ふるい目幅別重量分布状況の推移（全国）

単位：％

年 産	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
令和元年産	100.0	0.7	1.4	1.9	2.8	15.3	77.9
2	100.0	0.7	1.4	1.9	2.9	14.4	78.7
3	100.0	0.8	1.4	1.8	2.8	14.7	78.5
4	100.0	0.9	1.5	1.9	2.9	14.9	77.9
5	100.0	0.6	1.0	1.3	2.1	10.2	84.8
6（概数値）	100.0	0.7	1.2	1.5	2.6	11.9	82.1
平 均 値	100.0	0.7	1.3	1.8	2.7	13.9	79.6
対平均差(ポイント)	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.1	△ 2.0	2.5

注：1 ふるい目幅別重量分布とは、それぞれのふるい目幅で選別された玄米の重量の割合である（以下同じ。）。

2 平均値は、直近 5 か年の重量割合の平均である。

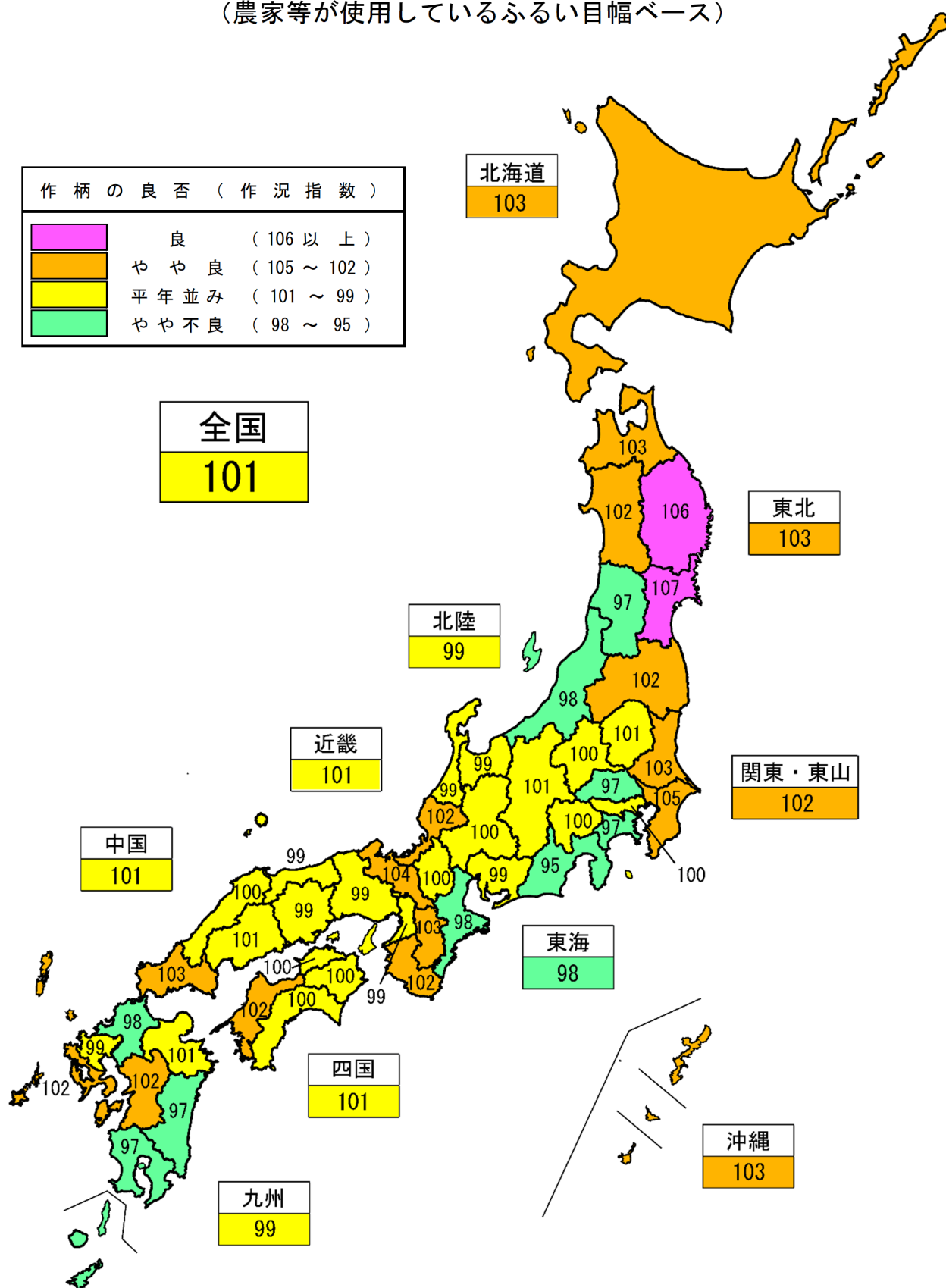
表 2 ふるい目幅別 10a 当たり収量及び収穫量（子実用）の推移（全国）

年 産		単位	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
令和元年産	10 a 当たり収量	kg	528	524	517	507	492	411
	収穫量	t	7,762,000	7,708,000	7,599,000	7,452,000	7,234,000	6,047,000
2	10 a 当たり収量	kg	531	527	520	510	494	418
	収穫量	t	7,763,000	7,709,000	7,600,000	7,452,000	7,227,000	6,109,000
3	10 a 当たり収量	kg	539	535	527	517	502	423
	収穫量	t	7,563,000	7,502,000	7,397,000	7,260,000	7,049,000	5,937,000
4	10 a 当たり収量	kg	536	531	523	513	497	418
	収穫量	t	7,269,000	7,204,000	7,095,000	6,956,000	6,746,000	5,663,000
5	10 a 当たり収量	kg	533	530	524	518	506	452
	収穫量	t	7,165,000	7,122,000	7,050,000	6,957,000	6,807,000	6,076,000
6 (概数値)	10 a 当たり収量	kg	540	536	530	522	508	443
	収穫量	t	7,345,000	7,294,000	7,205,000	7,095,000	6,904,000	6,030,000
	対前年比	%	103	102	102	102	101	99

注：1 ふるい目幅別の10a当たり収量とは、全国の10a当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別の収穫量(子実用)とは、全国の収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

図2 全国農業地域・都道府県別作況指数（10月25日現在）
（農家等が使用しているふりい目幅ベース）



注：1 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり予想収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふりい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。

2 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通栽培を合算したものである。また、沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の作況指数の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。

【調査結果】

- 1 令和6年産水稻の作付面積（子実用）は135万9,000ha（前年産に比べ1万5,000ha増加）となった。

また、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は125万9,000ha（前年産に比べ1万7,000ha増加）となった（表3参照）。

- 2 10月25日現在における全国の10a当たり予想収量は、540kg（平年に比べ+3kg）と見込まれる。

これを地域別にみると、以下のとおりである。

北海道、東北及び関東・東山においては、5月以降、おおむね天候に恵まれ、全もみ数が平年以上に確保されたこと等から、北海道は592kg（平年に比べ+21kg）、東北は583kg（同+12kg）、関東・東山は545kg（同+6kg）と見込まれる。

北陸においては、一部地域で5月下旬から6月上旬にかけての低温や9月下旬の大雨等の影響があったため、535kg（平年に比べ△3kg）と見込まれる。

東海、近畿、中国、四国及び九州においては、一部地域で6月下旬から7月中旬にかけての断続的な日照不足や8月以降の記録的な高温等の影響があったため、東海は489kg（平年に比べ△11kg）、近畿は507kg（同△2kg）、中国は512kg（同△7kg）、四国は481kg（同△1kg）、九州は489kg（同△11kg）と見込まれる。

沖縄県は、台風の影響もなく、おおむね天候も恵まれたことから、322kg（平年に比べ+10kg）が見込まれる。

- 3 以上の結果、予想収穫量（子実用）は734万5,000t（前年産に比べ18万t増加）と見込まれる。このうち、主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は、679万2,000t（前年産に比べ18万2,000t増加）と見込まれる（表3参照）。

- 4 10月25日現在におけるふりい目幅別重量分布状況は、前年産で最も多くの農家が使用していたふりい目幅である1.85mm以上の玄米の重量割合は96.6%と見込まれ、直近5か年平均値と比べて0.4ポイント高くなっている（表4参照）。

表3 令和6年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量
(全国農業地域別)

全 国 農 業 地 域	作 付 面 積 （ 子 実 用 ）			10 a 当たり予想収量			予 想 収 穫 量 （ 子 実 用 ）			主 食 用 作 付 面 積	予 想 収 穫 量 (主 食 用)	作 況 指 数
	実 数 ①	前年産との比較		実 数 ②	平 年 と の 比 較	前 年 産 と の 比 較	実 数 ③=①×②	前年産との比較				
		対 差	対 比		対 差	対 差		対 差	対 比			
	ha	ha	%	kg	kg	kg	t	t	%	ha	t	
全 国	1,359,000	15,000	101	540	3	7	7,345,000	180,000	103	1,259,000	6,792,000	101
北 海 道	95,000	1,700	102	592	21	13	562,400	22,200	104	83,700	495,500	103
東 北	358,400	9,300	103	583	12	14	2,091,000	103,000	105	319,800	1,865,000	103
北 陸	197,000	△ 700	100	535	△ 3	22	1,053,000	38,000	104	175,800	938,800	99
関東・東山	248,000	8,500	104	545	6	1	1,352,000	50,000	104	235,000	1,282,000	102
東 海	86,600	△ 200	100	489	△ 11	△ 5	423,100	△ 5,600	99	83,400	407,500	98
近 畿	94,000	△ 700	99	507	△ 2	4	476,900	800	100	90,600	459,600	101
中 国	93,100	△ 900	99	512	△ 7	△ 2	476,900	△ 6,200	99	90,400	463,000	101
四 国	42,700	△ 400	99	481	△ 1	△ 1	205,200	△ 2,500	99	42,300	203,600	101
九 州	143,700	△ 1,600	99	489	△ 11	△ 8	703,000	△ 19,000	97	138,200	676,000	99
沖 縄	599	23	104	322	10	1	1,930	80	104	557	1,790	103

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積である。
2 10 a 当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
3 10 a 当たり予想収量の平年との比較は、10 a 当たり平年収量との比較である。
4 予想収穫量については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
5 主食用作付面積とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
6 作況指数は、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり予想収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。
7 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の10 a 当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10 a 当たり収量と第二期稲の10 a 当たり平年収量の加重平均を用いた。

表4 ふるい目幅別重量分布状況（10月25日現在）

単位：％

全 国 農業地域	区 分	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
全 国	重量割合	100.0	0.7	1.2	1.5	2.6	11.9	82.1
	平 均 値	100.0	0.7	1.3	1.8	2.7	13.9	79.6
	対平均差(ポイント)	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.1	△ 2.0	2.5
北 海 道	重量割合	100.0	0.6	1.0	1.2	2.2	10.7	84.3
	平 均 値	100.0	0.6	0.9	1.2	1.9	10.3	85.1
	対平均差(ポイント)	0.0	0.0	0.1	0.0	0.3	0.4	△ 0.8
東 北	重量割合	100.0	0.5	1.1	1.3	2.2	10.5	84.4
	平 均 値	100.0	0.5	1.1	1.4	2.2	11.9	82.9
	対平均差(ポイント)	0.0	0.0	0.0	△ 0.1	0.0	△ 1.4	1.5
北 陸	重量割合	100.0	0.9	1.3	1.5	2.8	13.2	80.3
	平 均 値	100.0	0.6	1.0	1.3	2.3	12.7	82.1
	対平均差(ポイント)	0.0	0.3	0.3	0.2	0.5	0.5	△ 1.8
関東・東山	重量割合	100.0	0.8	1.2	1.6	2.6	13.4	80.4
	平 均 値	100.0	0.8	1.3	1.8	2.9	16.8	76.4
	対平均差(ポイント)	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.3	△ 3.4	4.0
東 海	重量割合	100.0	0.6	1.1	1.5	2.1	8.8	85.9
	平 均 値	100.0	0.8	1.2	1.7	2.3	10.5	83.5
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.2	△ 1.7	2.4
近 畿	重量割合	100.0	0.8	1.1	1.4	2.3	10.1	84.3
	平 均 値	100.0	0.9	1.5	1.9	2.7	13.2	79.8
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.4	△ 3.1	4.5
中 国	重量割合	100.0	0.5	0.9	1.1	1.8	8.4	87.3
	平 均 値	100.0	0.9	1.5	2.0	2.7	13.8	79.1
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.4	△ 0.6	△ 0.9	△ 0.9	△ 5.4	8.2
四 国	重量割合	100.0	0.8	1.1	1.5	2.4	11.6	82.6
	平 均 値	100.0	1.2	1.9	2.5	3.4	16.3	74.7
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.4	△ 0.8	△ 1.0	△ 1.0	△ 4.7	7.9
九 州	重量割合	100.0	1.1	2.0	2.5	4.4	17.7	72.3
	平 均 値	100.0	1.3	2.5	3.1	4.7	21.1	67.3
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.2	△ 0.5	△ 0.6	△ 0.3	△ 3.4	5.0

注：1 10月25日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆等のデータにより取りまとめたものであり、次回公表において数値が変動することがある（以下同じ。）。

2 平均値は、直近5か年の重量割合の平均である。

表5 ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（子実用）（10月25日現在）

全 国 農業地域	区 分	単位	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
全 国	10a 当たり収量	kg	540	536	530	522	508	443
	収穫量(子実用)	t	7,345,000	7,294,000	7,205,000	7,095,000	6,904,000	6,030,000
北 海 道	10a 当たり収量	kg	592	588	583	575	562	499
	収穫量(子実用)	t	562,400	559,000	553,400	546,700	534,300	474,100
東 北	10a 当たり収量	kg	583	580	574	566	553	492
	収穫量(子実用)	t	2,091,000	2,081,000	2,058,000	2,030,000	1,984,000	1,765,000
北 陸	10a 当たり収量	kg	535	530	523	515	500	430
	収穫量(子実用)	t	1,053,000	1,044,000	1,030,000	1,014,000	984,600	845,600
関東・東山	10a 当たり収量	kg	545	541	534	525	511	438
	収穫量(子実用)	t	1,352,000	1,341,000	1,325,000	1,303,000	1,268,000	1,087,000
東 海	10a 当たり収量	kg	489	486	481	473	463	420
	収穫量(子実用)	t	423,100	420,600	415,900	409,600	400,700	363,400
近 畿	10a 当たり収量	kg	507	503	497	490	479	427
	収穫量(子実用)	t	476,900	473,100	467,800	461,200	450,200	402,000
中 国	10a 当たり収量	kg	512	509	505	499	490	447
	収穫量(子実用)	t	476,900	474,500	470,200	465,000	456,400	416,300
四 国	10a 当たり収量	kg	481	477	472	465	453	397
	収穫量(子実用)	t	205,200	203,600	201,300	198,200	193,300	169,500
九 州	10a 当たり収量	kg	489	484	474	462	440	354
	収穫量(子実用)	t	703,000	695,300	681,200	663,600	632,700	508,300

注：1 ふるい目幅別の10a 当たり収量とは、全国又は全国農業地域別の10a 当たり予想収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、全国又は全国農業地域別の予想収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

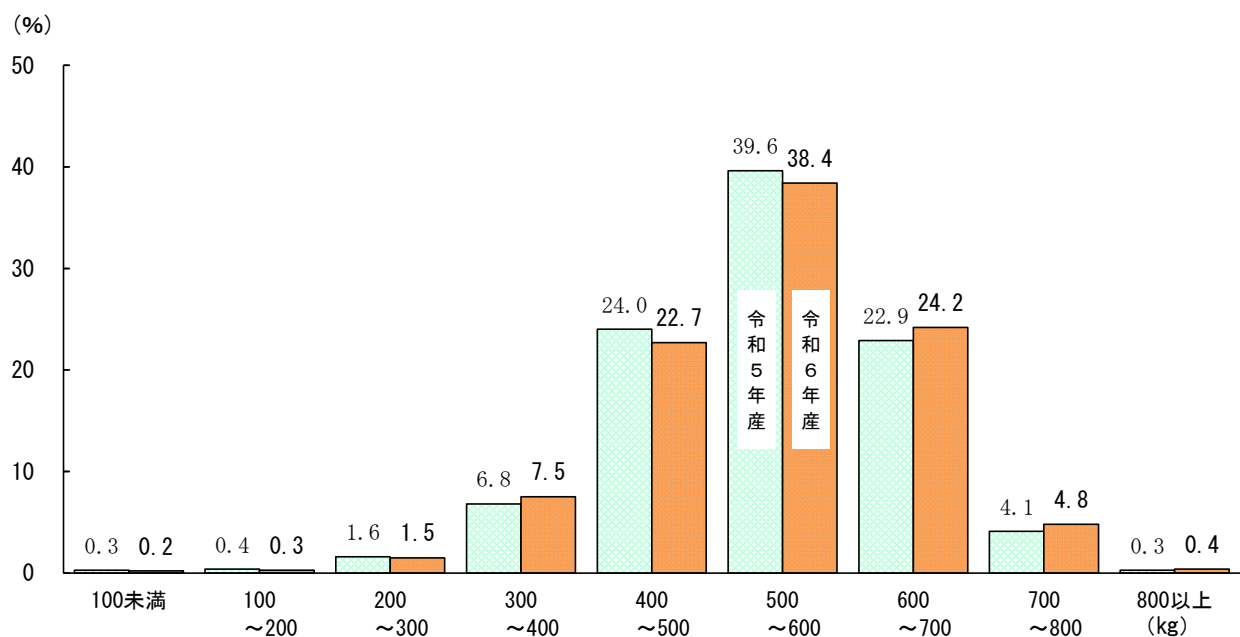
表6 令和6年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況
(10月25日現在)

単位：％

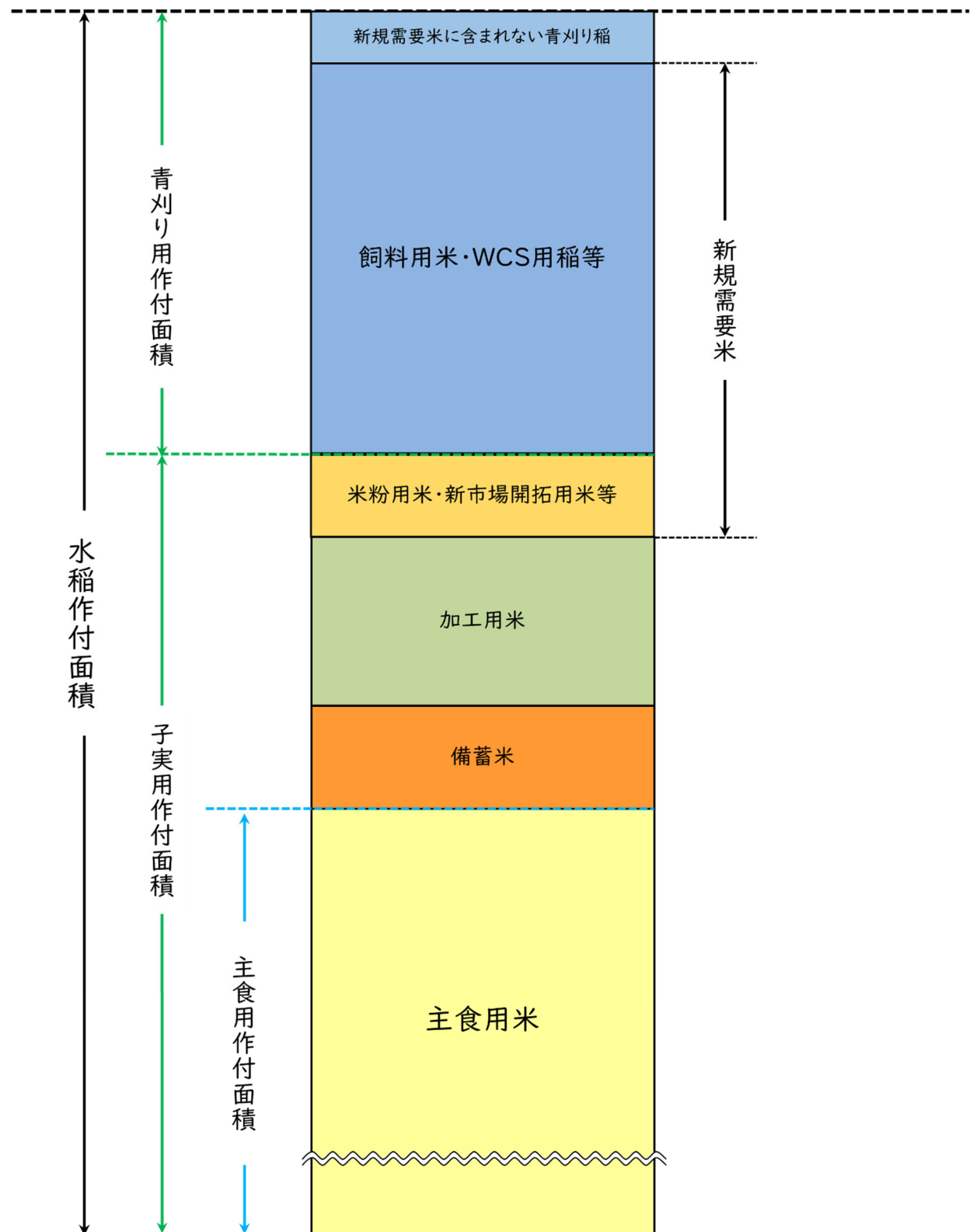
全 国 農業地域	区 分	計	100kg 未満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700 ～800	800kg 以上
全 国	筆数割合	100.0	0.2	0.3	1.5	7.5	22.7	38.4	24.2	4.8	0.4
	前 年 値	100.0	0.3	0.4	1.6	6.8	24.0	39.6	22.9	4.1	0.3
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	0.7	△ 1.3	△ 1.2	1.3	0.7	0.1
北 海 道	筆数割合	100.0	—	—	—	1.8	9.0	39.6	39.6	9.8	0.2
	前 年 値	100.0	—	—	0.3	1.0	9.8	45.0	38.8	4.8	0.3
	対前年差(ポイント)	0.0	—	—	△ 0.3	0.8	△ 0.8	△ 5.4	0.8	5.0	△ 0.1
東 北	筆数割合	100.0	0.1	0.1	1.0	2.0	9.5	35.2	41.1	10.4	0.6
	前 年 値	100.0	—	0.1	0.5	3.0	13.4	38.9	35.1	8.5	0.5
	対前年差(ポイント)	0.0	0.1	0.0	0.5	△ 1.0	△ 3.9	△ 3.7	6.0	1.9	0.1
北 陸	筆数割合	100.0	—	0.2	1.0	4.7	20.7	46.7	25.3	1.4	—
	前 年 値	100.0	0.4	1.2	2.0	6.8	26.4	39.0	21.2	3.0	—
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.4	△ 1.0	△ 1.0	△ 2.1	△ 5.7	7.7	4.1	△ 1.6	—
関東・東山	筆数割合	100.0	—	0.3	0.8	5.7	20.0	39.0	26.4	7.1	0.7
	前 年 値	100.0	0.1	—	0.8	5.2	22.0	39.4	25.2	6.7	0.6
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.1	0.3	0.0	0.5	△ 2.0	△ 0.4	1.2	0.4	0.1
東 海	筆数割合	100.0	—	0.5	1.6	13.1	33.8	36.2	13.4	1.4	—
	前 年 値	100.0	0.1	0.9	2.6	8.8	32.2	37.9	16.2	1.3	—
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.4	△ 1.0	4.3	1.6	△ 1.7	△ 2.8	0.1	—
近 畿	筆数割合	100.0	0.1	0.4	1.5	9.1	28.0	43.5	14.8	2.1	0.5
	前 年 値	100.0	0.2	0.2	2.2	8.3	30.6	42.6	14.2	1.7	—
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.1	0.2	△ 0.7	0.8	△ 2.6	0.9	0.6	0.4	0.5
中 国	筆数割合	100.0	0.7	1.0	4.0	10.5	22.3	34.8	20.9	4.9	0.9
	前 年 値	100.0	0.3	0.4	1.9	9.1	27.3	37.7	19.5	3.7	0.1
	対前年差(ポイント)	0.0	0.4	0.6	2.1	1.4	△ 5.0	△ 2.9	1.4	1.2	0.8
四 国	筆数割合	100.0	—	0.4	2.7	15.3	36.3	32.4	12.7	0.2	—
	前 年 値	100.0	0.5	0.7	3.6	13.8	33.3	35.8	11.0	1.0	0.3
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.9	1.5	3.0	△ 3.4	1.7	△ 0.8	△ 0.3
九 州	筆数割合	100.0	0.5	0.3	1.9	12.0	34.7	37.9	11.7	0.9	0.1
	前 年 値	100.0	1.0	0.4	2.5	9.4	30.0	40.8	15.2	0.6	0.1
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.5	△ 0.1	△ 0.6	2.6	4.7	△ 2.9	△ 3.5	0.3	0.0

注：1 10a 当たり玄米重は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
2 10月25日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆のデータにより取りまとめたものであり、次回公表において数値が変動することがある。
3 沖縄については、作況標本筆を設置していないことから、調査結果を表記していない。

図3 令和6年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況
(10月25日現在、全国)



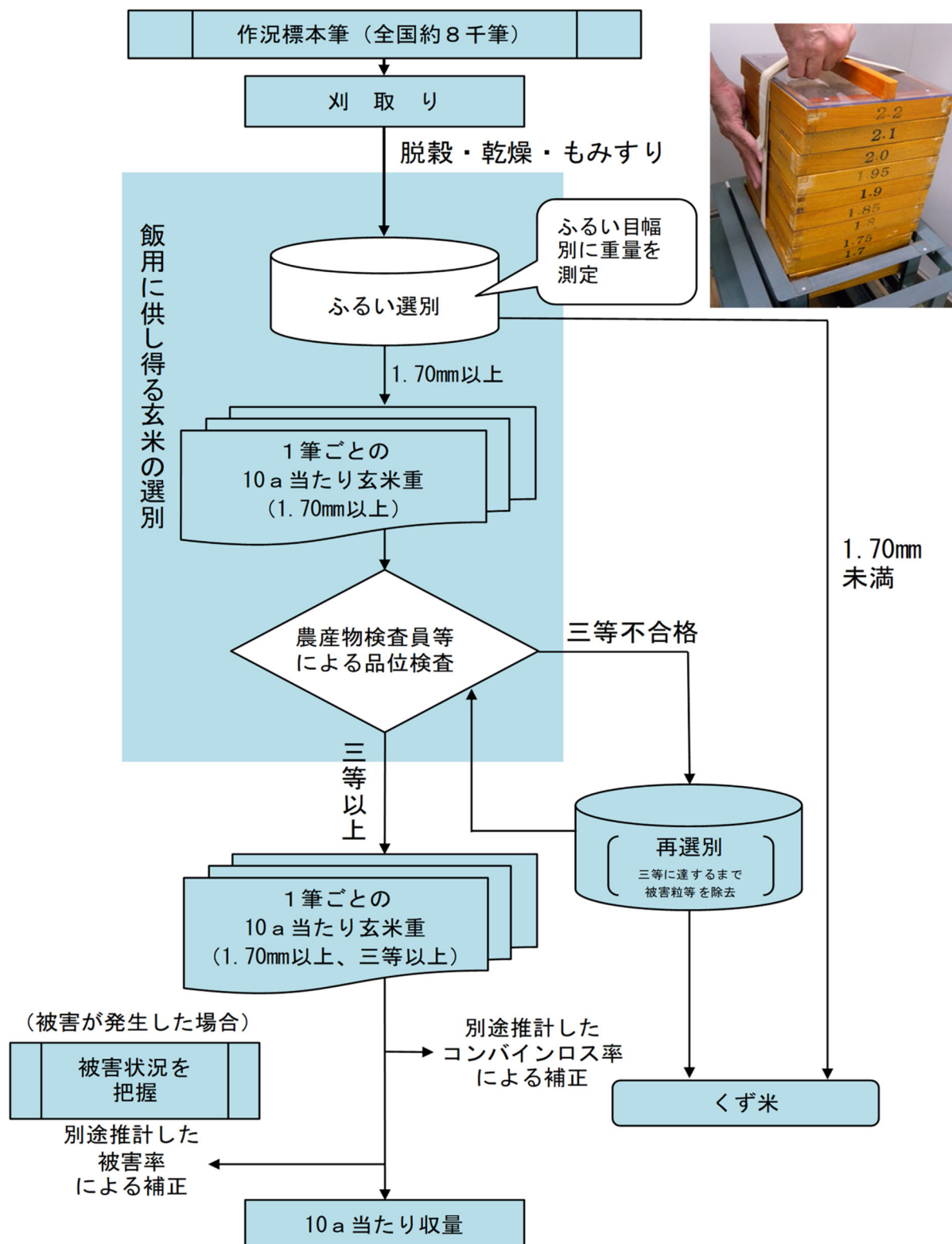
水稻作付面積の概念図



【参考 2】

収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考 3】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mmで選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。



【参考3】

作況標本筆^{ふで}とは

収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（1枚のほ場を筆と呼ぶ。^{ふで}）は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のように各地で選定し（全国で約8千筆）調査している。

全国の全ての土地
（母集団）



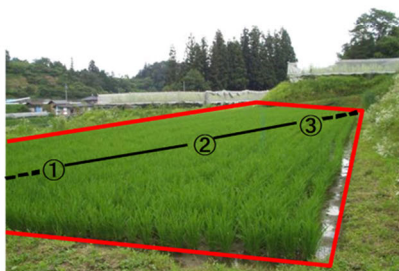
- 1 全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
（200m四方の土地）



- 2 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
（全国で約8千筆）



- 3 各作況標本筆の対角線上の3か所（①、②、③）を実測調査箇所として、調査箇所ごとに1㎡（合計3㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

【統計表】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040188541&ext=xls>

【調査の概要】

・ 面積調査

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/>

・ 作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

【水稻調査結果の主な利活用】

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

【ホームページ掲載案内】

- ・ 本資料は農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y4

- ・ 本資料のうち、作付面積は概数値であり、確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（令和7年2月予定）します。
- ・ 次回（収穫期）の公表は、令和6年12月上旬の予定です。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【関連リンク】

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局

<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>

病害虫に関する情報：農林水産省＞組織別から探す＞消費・安全局＞病害虫の防除に関する情報

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/>

※ 上記リンクでは、病害虫の防除に関する情報として、総合防除の推進や発生予察事業による病害虫の発生予測等について掲載しています。

なお、「植物防疫年報」として公開している病害虫の発生面積は病害虫の発生予測の参考として調査を行っているもので、農作物の作付面積、収量等の調査を行っている作物統計調査とは調査目的や調査方法等が異なります。

各道府県の生育状況等：米ネット（公益社団法人米穀安定供給確保支援機構）＞水稻の生育状況・技術情報リンク集

<https://www.komenet.jp/linkshuu/suitolink/>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

- ・作付面積に関すること

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 面積統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3681

（直通）03-6744-2045

- ・予想収穫量に関すること

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3682

（直通）03-3502-5687

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 統計広報推進班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3589

（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



SAFF

データの力で。

農林水産統計
Statistics of Agriculture,
Forestry and Fisheries

5年に1度の一斉調査

2025年農林業センサス（令和7年2月1日現在）を実施します。

調査期間

令和6年12月中旬 ～ 令和7年 2月末 農林業経営体調査

令和7年 1月中旬 ～ 令和7年 2月末 農山村地域調査（市区町村調査）

令和7年10月上旬 ～ 令和7年12月末 農山村地域調査（農業集落調査）

円滑な調査の実施に向けて、ご協力をお願いいたします。

また、調査票はオンラインによる回答も可能です。



農林業センサス

農林業センサス 2025



【目次】

統計表

1 令和6年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量 1

2 令和6年産水稻玄米のふりい目幅別重量分布状況(10月25日現在) 3

3 令和6年産水稻玄米のふりい目幅別10a当たり収量(10月25日現在) 5

4 令和6年産水稻玄米のふりい目幅別収穫量(子実用)(10月25日現在) 6

5 令和6年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況(10月25日現在) 7

6 令和6年産水稻の作柄表示地帯別玄米重歩合(10月25日現在) 8

7 令和6年産水稻の作柄表示地帯別作況指数(10月25日現在) 9

調査の概要

本調査の「調査の概要」は、農林水産省ホームページの「統計情報」の次のURLからご覧いただけます。

- ・面積調査
<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/>
- ・作況調査(水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物)
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

利用上の注意

- 1 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		7 桁以上 (100万)	6 桁 (10万)	5 桁 (1 万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁数 (下から)		3 桁	2 桁		1 桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前 (原数)	1, 234, 567	123, 456	12, 345	1, 234	123
	四捨五入した数値 (統計数値)	1, 235, 000	123, 500	12, 300	1, 230	123

- 2 表中に用いた記号は次のとおりである。
- 「0」、「0.0」： 単位に満たないもの (例：0.4ha→0 ha) 又は増減がないもの
 - 「－」： 事実のないもの
 - 「…」： 事実不詳又は調査を欠くもの
 - 「△」： 負数又は減少したもの
- 3 この資料のうち、作付面積は概数値であり、確定した詳細な数値はホームページに掲載 (令和7年2月予定) する。
- 4 10 a 当たり予想収量は、収穫を終えた地域では刈取り実測による結果であるが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定した結果である。したがって、今後の気象条件等により変動することがある。
- なお、次回 (収穫期) の公表は、令和6年12月上旬の予定である。
- 5 この統計表に記載された数値等を他に転載する場合は、「令和6年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量」 (農林水産省) による旨を記載してください。

1 令和6年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量

全 国 ・ 都道府県		作付面積（子実用）			10 a 当たり 予想収量 ②	農家等が使用 している ふるい目幅で選別			
		実 数 ①	前年産との比較			最も多い 使用割合 の 目 幅 ③	10 a 当たり 予想収量 ④	10 a 当たり 平年収量 ⑤	作況指数 ⑥＝④／⑤
			対差	対比					
		ha	ha	%	kg	mm	kg	kg	
全 国 (1)	(1)	1,359,000	15,000	101	540	...	519	513	101
北 海 道 (2)	(2)	95,000	1,700	102	592	1.90	562	544	103
青 森 (3)	(3)	42,400	1,900	105	623	1.90	598	578	103
岩 手 (4)	(4)	45,500	300	101	569	1.90	546	517	106
宮 城 (5)	(5)	62,800	1,900	103	583	1.90	550	516	107
秋 田 (6)	(6)	84,200	1,200	101	582	1.90	552	542	102
山 形 (7)	(7)	60,800	△ 200	100	583	1.90	553	570	97
福 島 (8)	(8)	62,700	4,300	107	569	1.85	546	534	102
茨 城 (9)	(9)	62,500	2,800	105	542	1.85	523	506	103
栃 木 (10)	(10)	53,000	1,600	103	540	1.85	521	515	101
群 馬 (11)	(11)	14,300	400	103	500	1.80	484	482	100
埼 玉 (12)	(12)	29,600	1,200	104	476	1.80	463	479	97
千 葉 (13)	(13)	50,600	2,900	106	569	1.80	559	533	105
東 京 (14)	(14)	107	△ 4	96	414	1.80	405	404	100
神 奈 川 (15)	(15)	2,840	△ 10	100	481	1.80	463	475	97
新 潟 (16)	(16)	116,200	400	100	536	1.85	515	524	98
富 山 (17)	(17)	35,000	△ 200	99	540	1.90	515	519	99
石 川 (18)	(18)	22,300	△ 1,100	95	521	1.90	495	498	99
福 井 (19)	(19)	23,500	200	101	531	1.90	494	483	102
山 梨 (20)	(20)	4,680	△ 70	99	534	1.85	518	516	100
長 野 (21)	(21)	30,300	△ 300	99	620	1.85	604	599	101
岐 阜 (22)	(22)	21,100	400	102	483	1.80	474	475	100
静 岡 (23)	(23)	14,500	△ 600	96	484	1.85	472	499	95
愛 知 (24)	(24)	26,200	400	102	497	1.85	480	484	99
三 重 (25)	(25)	24,900	△ 300	99	485	1.85	468	478	98
滋 賀 (26)	(26)	28,400	100	100	517	1.90	484	483	100
京 都 (27)	(27)	13,600	△ 200	99	527	1.85	512	492	104
大 阪 (28)	(28)	4,290	△ 150	97	483	1.80	472	478	99
兵 庫 (29)	(29)	34,000	△ 200	99	491	1.85	475	478	99
奈 良 (30)	(30)	8,000	△ 250	97	526	1.80	517	500	103
和 歌 山 (31)	(31)	5,680	△ 100	98	506	1.80	500	491	102
鳥 取 (32)	(32)	11,800	△ 100	99	502	1.85	491	495	99
島 根 (33)	(33)	15,900	△ 200	99	505	1.90	485	484	100
岡 山 (34)	(34)	28,000	200	101	510	1.85	496	499	99
広 島 (35)	(35)	20,600	△ 500	98	526	1.85	515	508	101
山 口 (36)	(36)	16,800	△ 300	98	513	1.85	497	481	103
徳 島 (37)	(37)	9,890	140	101	470	1.80	462	462	100
早期栽培 (38)	(38)	3,810	60	102	454	1.80	447	453	99
普通栽培 (39)	(39)	6,070	60	101	480	1.80	472	467	101
香 川 (40)	(40)	9,820	△ 380	96	491	1.80	481	479	100
愛 媛 (41)	(41)	12,700	△ 100	99	502	1.80	491	482	102
高 知 (42)	(42)	10,300	0	100	453	1.80	444	445	100
早期栽培 (43)	(43)	5,790	20	100	487	1.80	479	470	102
普通栽培 (44)	(44)	4,480	△ 70	98	409	1.80	400	413	97
福 岡 (45)	(45)	32,600	△ 200	99	467	1.85	442	452	98
佐 賀 (46)	(46)	22,400	200	101	505	1.85	482	487	99
長 崎 (47)	(47)	9,420	△ 580	94	487	1.80	472	465	102
熊 本 (48)	(48)	29,700	△ 300	99	516	1.85	487	479	102
大 分 (49)	(49)	18,000	△ 300	98	491	1.85	459	454	101
宮 崎 (50)	(50)	14,500	△ 200	99	481	1.80	467	482	97
早期栽培 (51)	(51)	5,410	△ 140	97	470	1.80	461	471	98
普通栽培 (52)	(52)	9,100	△ 70	99	487	1.80	470	489	96
鹿 児 島 (53)	(53)	17,100	△ 100	99	470	1.80	454	470	97
早期栽培 (54)	(54)	3,860	△ 70	98	446	1.80	437	452	97
普通栽培 (55)	(55)	13,200	△ 100	99	477	1.80	458	476	96
沖 縄 (56)	(56)	599	23	104	322	1.80	314	305	103
第一期稲 (57)	(57)	445	4	101	366	1.80	360	343	105
第二期稲 (58)	(58)	154	19	114	...	1.80	...	182	...

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積である。

2 10a当たり予想収量（②）、予想収穫量（子実用）（⑦）及び予想収穫量（主食用）（⑨）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

3 10 a 当たり予想収量（④）、10 a 当たり平年収量（⑤）及び作況指数（⑥）については、都道府県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。

4 予想収穫量については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

予想収穫量（子実用）			主 食 用 作 付 面 積 ⑧	予 想 収 穫 量 （ 主 食 用 ） ⑨＝⑧×②	
実 数 ⑦＝①×②	前年産との比較				
	対差	対比			
t	t	%	ha	t	
7,345,000	180,000	103	1,259,000	6,792,000	(1)
562,400	22,200	104	83,700	495,500	(2)
264,200	15,500	106	37,200	231,800	(3)
258,900	9,800	104	43,100	245,200	(4)
366,100	21,400	106	58,400	340,500	(5)
490,000	31,800	107	72,200	420,200	(6)
354,500	△ 4,800	99	52,400	305,500	(7)
356,800	29,200	109	56,500	321,500	(8)
338,800	22,400	107	59,900	324,700	(9)
286,200	2,000	101	49,000	264,600	(10)
71,500	1,400	102	12,800	64,000	(11)
140,900	3,400	102	28,400	135,200	(12)
287,900	22,200	108	48,300	274,800	(13)
443	△ 22	95	107	443	(14)
13,700	△ 500	96	2,840	13,700	(15)
622,800	31,100	105	101,400	543,500	(16)
189,000	3,100	102	31,200	168,500	(17)
116,200	△ 5,000	96	21,200	110,500	(18)
124,800	8,300	107	21,900	116,300	(19)
25,000	△ 700	97	4,590	24,500	(20)
187,900	0	100	29,000	179,800	(21)
101,900	1,700	102	19,600	94,700	(22)
70,200	△ 8,200	90	14,400	69,700	(23)
130,200	6,400	105	25,000	124,300	(24)
120,800	△ 5,500	96	24,500	118,800	(25)
146,800	4,200	103	27,400	141,700	(26)
71,700	2,400	103	13,000	68,500	(27)
20,700	△ 1,600	93	4,290	20,700	(28)
166,900	△ 3,100	98	32,200	158,100	(29)
42,100	△ 600	99	7,960	41,900	(30)
28,700	△ 500	98	5,680	28,700	(31)
59,200	2,000	103	11,600	58,200	(32)
80,300	△ 2,600	97	15,700	79,300	(33)
142,800	△ 100	100	27,200	138,700	(34)
108,400	△ 4,500	96	20,100	105,700	(35)
86,200	△ 1,000	99	15,800	81,100	(36)
46,500	800	102	9,790	46,000	(37)
17,300	400	102	...	...	(38)
29,100	200	101	...	...	(39)
48,200	△ 2,400	95	9,770	48,000	(40)
63,800	△ 800	99	12,700	63,800	(41)
46,700	△ 100	100	10,100	45,800	(42)
28,200	200	101	...	...	(43)
18,300	△ 600	97	...	...	(44)
152,200	△ 5,200	97	32,200	150,400	(45)
113,100	△ 2,600	98	22,000	111,100	(46)
45,900	△ 2,900	94	9,360	45,600	(47)
153,300	△ 2,100	99	28,800	148,600	(48)
88,400	△ 1,500	98	17,800	87,400	(49)
69,700	△ 1,700	98	12,400	59,600	(50)
25,400	△ 1,600	94	...	...	(51)
44,300	△ 200	100	...	...	(52)
80,400	△ 3,000	96	15,600	73,300	(53)
17,200	△ 1,200	93	...	...	(54)
63,000	△ 2,200	97	...	...	(55)
1,930	80	104	557	1,790	(56)
1,630	90	106	...	...	(57)
...	...	...	...	...	(58)

5 主食用作付面積とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。

6 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付面積は、作期別の備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

7 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから「…」で示しており、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。

2 令和6年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況（10月25日現在）

全 国 ・ 都道府県	ふるい目幅別重量分布状況						
	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
	%	%	%	%	%	%	%
全 国 (1)	100.0	0.7	1.2	1.5	2.6	11.9	82.1
北海道 (2)	100.0	0.6	1.0	1.2	2.2	10.7	84.3
青森 (3)	100.0	0.6	0.9	1.0	1.5	8.2	87.8
岩手 (4)	100.0	0.4	0.9	1.0	1.7	7.7	88.3
宮城 (5)	100.0	0.4	1.0	1.5	2.7	13.0	81.4
秋田 (6)	100.0	0.5	1.0	1.3	2.3	10.3	84.6
山形 (7)	100.0	0.5	1.0	1.3	2.4	11.9	82.9
福島 (8)	100.0	0.6	1.6	1.8	2.5	10.4	83.1
茨城 (9)	100.0	0.8	1.2	1.5	2.7	13.4	80.4
栃木 (10)	100.0	0.8	1.2	1.6	2.6	15.8	78.0
群馬 (11)	...	...	...	...	...	...	...
埼玉 (12)	100.0	1.1	1.6	2.4	3.2	17.8	73.9
千葉 (13)	100.0	0.6	1.1	1.4	2.6	10.7	83.6
東京都 (14)	100.0	0.9	1.3	2.0	2.5	14.0	79.3
神奈川県 (15)	100.0	1.3	2.5	3.0	4.3	21.9	67.0
新潟 (16)	100.0	1.0	1.4	1.6	3.1	13.9	79.0
富山 (17)	100.0	0.6	0.9	1.2	2.0	10.4	84.9
石川 (18)	100.0	0.6	1.0	1.2	2.2	12.3	82.7
福井 (19)	100.0	0.8	1.4	1.7	3.0	15.1	78.0
山梨 (20)	100.0	0.6	1.0	1.4	2.4	12.4	82.2
長野 (21)	100.0	0.7	0.9	1.0	1.7	9.3	86.4
岐阜 (22)	100.0	0.7	1.2	1.2	2.6	9.2	85.1
静岡 (23)	100.0	0.5	0.9	1.1	2.0	9.9	85.6
愛知 (24)	100.0	0.6	1.2	1.7	1.7	6.7	88.1
三重 (25)	100.0	0.7	1.1	1.7	2.1	10.0	84.4
滋賀 (26)	100.0	0.9	1.3	1.6	2.6	11.4	82.2
京都 (27)	100.0	0.6	0.9	1.3	2.1	8.8	86.3
大阪 (28)	100.0	0.8	1.4	2.2	3.8	17.7	74.1
兵庫 (29)	100.0	0.9	1.1	1.3	2.1	9.3	85.3
奈良 (30)	100.0	0.7	1.1	1.6	2.6	9.7	84.3
和歌山 (31)	100.0	0.5	0.7	0.8	1.7	6.7	89.6
鳥取 (32)	100.0	0.5	0.8	0.9	1.8	9.7	86.3
島根 (33)	100.0	0.5	0.8	1.2	1.5	8.4	87.6
岡山 (34)	100.0	0.5	1.0	1.2	1.9	9.5	85.9
広島 (35)	100.0	0.5	0.6	0.9	1.5	6.2	90.3
山口 (36)	100.0	0.7	1.1	1.4	2.1	8.4	86.3
徳島 (37)	100.0	0.7	0.9	1.5	2.2	11.6	83.1
早期栽培 (38)	100.0	0.7	0.9	1.3	1.9	9.2	86.0
普通栽培 (39)	100.0	0.7	0.9	1.6	2.4	13.1	81.3
香川 (40)	100.0	0.7	1.3	1.9	2.7	14.0	79.4
愛媛 (41)	100.0	0.9	1.2	1.4	2.5	11.7	82.3
高知 (42)	100.0	0.8	1.1	1.4	2.3	9.1	85.3
早期栽培 (43)	100.0	0.7	1.0	1.1	2.0	7.8	87.4
普通栽培 (44)	100.0	0.9	1.3	1.9	2.7	11.1	82.1
福岡 (45)	100.0	1.1	1.8	2.5	4.4	14.7	75.5
佐賀 (46)	100.0	0.9	1.7	2.0	3.7	17.0	74.7
長崎 (47)	100.0	1.1	2.0	2.4	3.9	16.0	74.6
熊本 (48)	100.0	1.1	2.0	2.5	4.7	18.7	71.0
大分 (49)	100.0	1.3	2.3	2.9	5.8	21.3	66.4
宮崎 (50)	100.0	1.0	1.9	2.5	3.4	19.5	71.7
早期栽培 (51)	100.0	0.7	1.3	1.7	2.7	18.8	74.8
普通栽培 (52)	100.0	1.1	2.3	2.9	3.8	19.9	70.0
鹿児島 (53)	100.0	1.2	2.3	3.2	4.3	17.9	71.1
早期栽培 (54)	100.0	0.7	1.4	1.9	3.4	18.1	74.5
普通栽培 (55)	100.0	1.4	2.6	3.6	4.5	17.9	70.0
沖縄 (56)	...	...	...	...	...	...	...

注：1 ふるい目幅別重量分布とは、それぞれのふるい目幅で選別された玄米の重量の割合である。

2 10月25日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆等のデータにより取りまとめたものであり、次回公表において数値が変動することがある（以下同じ。）。

対平均差						
1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上	
ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	
0.0	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.1	△ 2.0	2.5	(1)
0.0	0.1	0.0	0.3	0.4	△ 0.8	(2)
0.0	0.0	△ 0.3	△ 0.2	△ 1.6	2.1	(3)
△ 0.2	0.0	△ 0.2	△ 0.1	△ 2.0	2.5	(4)
△ 0.1	0.0	0.1	0.4	△ 0.8	0.4	(5)
△ 0.1	△ 0.2	△ 0.4	△ 0.2	△ 1.2	2.1	(6)
0.0	0.0	0.1	0.1	△ 1.6	1.4	(7)
0.1	0.3	0.2	0.0	△ 2.0	1.4	(8)
0.0	0.0	0.1	△ 0.2	△ 2.3	2.4	(9)
△ 0.1	△ 0.2	△ 0.5	△ 0.4	△ 3.6	4.8	(10)
...	...	...	...	...	...	(11)
0.0	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.7	△ 5.2	6.2	(12)
△ 0.1	0.2	0.0	0.3	△ 3.2	2.8	(13)
△ 0.2	△ 0.4	△ 0.6	△ 1.1	△ 5.0	7.3	(14)
0.1	0.4	0.5	0.5	2.1	△ 3.6	(15)
0.4	0.4	0.3	0.7	0.9	△ 2.7	(16)
0.0	0.0	0.0	△ 0.2	△ 1.3	1.5	(17)
0.0	0.0	0.0	0.1	1.0	△ 1.1	(18)
△ 0.1	0.1	0.1	0.2	1.1	△ 1.4	(19)
△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.7	△ 2.7	4.5	(20)
0.0	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.4	△ 2.6	3.4	(21)
△ 0.1	△ 0.1	△ 0.4	0.3	△ 1.1	1.4	(22)
△ 0.2	△ 0.2	△ 0.4	△ 0.5	△ 3.1	4.4	(23)
△ 0.1	0.1	0.1	△ 0.7	△ 3.3	3.9	(24)
△ 0.2	△ 0.3	△ 0.3	0.0	0.2	0.6	(25)
0.0	△ 0.1	△ 0.2	0.1	△ 0.8	1.0	(26)
△ 0.1	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.3	△ 2.1	2.8	(27)
△ 0.4	△ 0.7	△ 1.5	△ 0.5	△ 0.5	3.6	(28)
△ 0.1	△ 0.6	△ 0.5	△ 0.8	△ 5.2	7.2	(29)
△ 0.1	△ 0.6	△ 0.6	△ 0.6	△ 4.5	6.4	(30)
△ 0.4	△ 0.8	△ 1.0	△ 0.5	△ 4.9	7.6	(31)
△ 0.2	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5	△ 1.6	3.3	(32)
△ 0.3	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.8	△ 4.8	7.1	(33)
△ 0.4	△ 0.6	△ 1.2	△ 1.3	△ 5.4	8.9	(34)
△ 0.2	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8	△ 6.2	8.8	(35)
△ 0.4	△ 0.8	△ 0.9	△ 1.5	△ 7.7	11.3	(36)
△ 0.3	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.4	△ 1.8	3.9	(37)
△ 0.2	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.5	△ 3.3	5.5	(38)
△ 0.3	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.3	△ 0.9	3.1	(39)
△ 0.5	△ 0.6	△ 0.9	△ 0.8	△ 5.0	7.8	(40)
△ 0.4	△ 1.1	△ 1.4	△ 1.7	△ 6.4	11.0	(41)
△ 0.3	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.6	△ 4.8	7.2	(42)
△ 0.3	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.5	△ 5.2	7.3	(43)
△ 0.4	△ 0.9	△ 0.9	△ 0.9	△ 4.2	7.3	(44)
△ 0.4	△ 1.0	△ 0.9	△ 0.4	△ 5.8	8.5	(45)
△ 0.4	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.2	△ 1.6	3.1	(46)
△ 0.3	△ 0.8	△ 0.8	△ 1.9	△ 8.1	11.9	(47)
△ 0.1	△ 0.4	△ 0.2	0.3	△ 2.0	2.4	(48)
△ 0.5	△ 1.0	△ 1.2	△ 0.7	△ 4.6	8.0	(49)
0.1	0.1	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5	1.1	(50)
0.1	0.1	0.2	0.4	4.2	△ 5.0	(51)
0.1	0.2	△ 0.7	△ 1.1	△ 3.4	4.9	(52)
0.2	0.4	0.3	0.4	△ 2.4	1.1	(53)
△ 0.2	△ 0.2	△ 0.6	△ 0.2	△ 3.0	4.2	(54)
0.4	0.7	0.5	0.5	△ 2.2	0.1	(55)
...	...	...	...	...	...	(56)

3 10月25日現在で、各都道府県において設置された作況標本筆等のおおむね80%以上でデータが得られた都道府県について調査結果を表章しており、それに満たない都道府県については「…」で示した（以下同じ。）。

4 対平均差に用いた平均値は、直近5か年の重量割合の平均値である。

3 令和6年産水稻玄米のふるい目幅別10a 当たり収量（10月25日現在）

単位：kg

全 国 都道府県						
	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
全 国	540	536	530	522	508	443
北海道	592	588	583	575	562	499
青森	623	619	614	607	598	547
岩手	569	567	562	556	546	502
宮城	583	581	575	566	550	475
秋田	582	579	573	566	552	492
山形	583	580	574	567	553	483
福島	569	566	556	546	532	473
茨城	542	538	531	523	508	436
栃木	540	536	529	521	507	421
群馬	...	...	...	...	...	...
埼玉	476	471	463	452	436	352
千葉	569	566	559	551	537	476
東京都	414	410	405	397	386	328
神奈川県	481	475	463	448	428	322
新潟	536	531	523	515	498	423
富山	540	537	532	525	515	458
石川	521	518	513	506	495	431
福井	531	527	519	510	494	414
山梨	534	531	525	518	505	439
長野	620	616	610	604	593	536
岐阜	483	480	474	468	455	411
静岡県	484	482	477	472	462	414
愛知	497	494	488	480	471	438
三重	485	482	476	468	458	409
滋賀	517	512	506	497	484	425
京都	527	524	519	512	501	455
大阪	483	479	472	462	443	358
兵庫県	491	487	481	475	464	419
奈良	526	522	517	508	494	443
和歌山	506	503	500	496	487	453
鳥取	502	499	495	491	482	433
島根	505	502	498	492	485	442
岡山	510	507	502	496	487	438
広島	526	523	520	515	508	475
山口	513	509	504	497	486	443
徳島	470	467	462	455	445	391
早期栽培	454	451	447	441	432	390
普通栽培	480	477	472	465	453	390
香川県	491	488	481	472	459	390
愛媛	502	497	491	484	472	413
高知	453	449	444	438	428	386
早期栽培	487	484	479	473	464	426
普通栽培	409	405	400	392	381	336
福岡	467	462	453	442	421	353
佐賀	505	500	492	482	463	377
長崎	487	482	472	460	441	363
熊本	516	510	500	487	463	366
大分	491	485	473	459	431	326
宮崎	481	476	467	455	439	345
早期栽培	470	467	461	453	440	352
普通栽培	487	482	470	456	438	341
鹿児島	470	464	454	439	418	334
早期栽培	446	443	437	428	413	332
普通栽培	477	470	458	441	419	334
沖縄	...	...	...	...	...	...

注：ふるい目幅別10a当たり収量とは、都道府県の10a当たり予想収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

4 令和6年産水稻玄米のふるい目幅別収穫量（子実用）（10月25日現在）

単位：t

全 国 都道府県	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
全 国	7,345,000	7,294,000	7,205,000	7,095,000	6,904,000	6,030,000
北海道	562,400	559,000	553,400	546,700	534,300	474,100
青森	264,200	262,600	260,200	257,600	253,600	232,000
岩手	258,900	257,900	255,500	252,900	248,500	228,600
宮城	366,100	364,600	361,000	355,500	345,600	298,000
秋田	490,000	487,600	482,700	476,300	465,000	414,500
山形	354,500	352,700	349,200	344,600	336,100	293,900
福島	356,800	354,700	349,000	342,500	333,600	296,500
茨城	338,800	336,100	332,000	326,900	317,800	272,400
栃木	286,200	283,900	280,500	275,900	268,500	223,200
群馬	...	...	...	...	...	...
埼玉	140,900	139,400	137,100	133,700	129,200	104,100
千葉	287,900	286,200	283,000	279,000	271,500	240,700
東京都	443	439	433	424	413	351
神奈川県	13,700	13,500	13,200	12,800	12,200	9,180
新潟	622,800	616,600	607,900	597,900	578,600	492,000
富山	189,000	187,900	186,200	183,900	180,100	160,500
石川	116,200	115,500	114,300	112,900	110,400	96,100
福井	124,800	123,800	122,100	119,900	116,200	97,300
山梨	25,000	24,900	24,600	24,300	23,700	20,600
長野	187,900	186,600	184,900	183,000	179,800	162,300
岐阜	101,900	101,200	100,000	98,700	96,100	86,700
静岡	70,200	69,800	69,200	68,400	67,000	60,100
愛知	130,200	129,400	127,900	125,600	123,400	114,700
三重	120,800	120,000	118,600	116,600	114,000	102,000
滋賀	146,800	145,500	143,600	141,200	137,400	120,700
京都	71,700	71,300	70,600	69,700	68,200	61,900
大阪	20,700	20,500	20,200	19,800	19,000	15,300
兵庫県	166,900	165,400	163,600	161,400	157,900	142,400
奈良	42,100	41,800	41,300	40,700	39,600	35,500
和歌山	28,700	28,600	28,400	28,100	27,600	25,700
鳥取	59,200	58,900	58,400	57,900	56,800	51,100
島根	80,300	79,900	79,300	78,300	77,100	70,300
岡山	142,800	142,100	140,700	138,900	136,200	122,700
広島	108,400	107,900	107,200	106,200	104,600	97,900
山口	86,200	85,600	84,600	83,400	81,600	74,400
徳島	46,500	46,200	45,800	45,100	44,000	38,600
早期栽培	17,300	17,200	17,000	16,800	16,500	14,900
普通栽培	29,100	28,900	28,600	28,200	27,500	23,700
香川県	48,200	47,900	47,200	46,300	45,000	38,300
愛媛	63,800	63,200	62,500	61,600	60,000	52,500
高知	46,700	46,300	45,800	45,200	44,100	39,800
早期栽培	28,200	28,000	27,700	27,400	26,800	24,600
普通栽培	18,300	18,100	17,900	17,600	17,100	15,000
福岡	152,200	150,500	147,800	144,000	137,300	114,900
佐賀	113,100	112,100	110,200	107,900	103,700	84,500
長崎	45,900	45,400	44,500	43,400	41,600	34,200
熊本	153,300	151,600	148,500	144,700	137,500	108,800
大分	88,400	87,300	85,200	82,700	77,500	58,700
宮崎	69,700	69,000	67,700	65,900	63,600	50,000
早期栽培	25,400	25,200	24,900	24,500	23,800	19,000
普通栽培	44,300	43,800	42,800	41,500	39,800	31,000
鹿児島	80,400	79,400	77,600	75,000	71,600	57,200
早期栽培	17,200	17,100	16,800	16,500	15,900	12,800
普通栽培	63,000	62,100	60,500	58,200	55,400	44,100
沖縄	...	...	...	...	...	...

注：ふるい目幅別収穫量（子実用）とは、都道府県別の予想収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

5 令和6年産水稻の作況標本筆の10a 当たり玄米重の分布状況（10月25日現在）

単位：％

全 国 ・ 都道府県	計	100kg未満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700 ～800	800kg以上
全 国	100.0	0.2	0.3	1.5	7.5	22.7	38.4	24.2	4.8	0.4
北 海 道	100.0	-	-	-	1.8	9.0	39.6	39.6	9.8	0.2
青 森	100.0	-	-	0.7	1.5	4.5	26.8	42.7	22.3	1.5
岩 手	100.0	-	-	1.7	4.4	12.2	35.3	41.3	5.1	-
宮 城	100.0	-	-	0.4	1.1	10.0	37.0	48.5	3.0	-
秋 田	100.0	-	0.4	1.9	1.2	8.1	37.3	39.9	10.0	1.2
山 形	100.0	0.8	-	0.8	1.5	8.3	35.5	37.3	14.7	1.1
福 島	100.0	-	-	0.4	2.0	14.0	40.0	36.0	7.6	-
茨 城	100.0	-	0.4	0.4	3.5	16.1	50.1	26.5	3.0	-
栃 木	100.0	-	0.8	1.3	6.3	14.6	44.7	28.5	3.8	-
群 馬	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
埼 玉	100.0	-	-	1.3	10.0	46.9	35.6	5.6	0.6	-
千 葉	100.0	-	0.5	-	1.8	11.4	44.5	34.1	7.7	-
東 京	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
神 奈 川	100.0	-	-	2.0	12.0	40.0	38.0	8.0	-	-
新 潟	100.0	-	-	1.4	3.0	21.7	50.0	22.3	1.6	-
富 山	100.0	-	-	1.6	4.2	20.5	37.4	32.6	3.7	-
石 川	100.0	-	-	0.5	8.7	23.0	41.0	26.8	-	-
福 井	100.0	-	1.1	-	4.7	16.8	54.8	22.6	-	-
山 梨	100.0	-	-	1.4	11.4	28.6	28.6	20.0	7.1	2.9
長 野	100.0	-	-	0.9	2.2	8.3	20.4	43.0	22.2	3.0
岐 阜	100.0	-	-	-	12.9	38.2	34.5	14.4	-	-
静 岡	100.0	-	0.8	1.6	13.6	37.6	31.2	12.0	3.2	-
愛 知	100.0	-	-	2.9	12.1	27.2	42.2	15.6	-	-
三 重	100.0	-	1.0	1.5	13.6	34.2	35.6	11.6	2.5	-
滋 賀	100.0	-	0.5	1.1	3.2	26.8	54.6	11.1	1.6	1.1
京 都	100.0	-	0.8	0.8	8.3	19.2	46.7	21.7	0.8	1.7
大 阪	100.0	-	-	4.4	15.6	31.1	31.1	15.6	2.2	-
兵 庫	100.0	-	-	2.4	12.7	33.7	37.1	11.7	2.4	-
奈 良	100.0	-	-	-	6.3	32.5	41.1	18.8	1.3	-
和 歌 山	100.0	1.1	1.1	1.1	13.5	23.6	38.2	16.9	4.5	-
鳥 取	100.0	-	-	4.2	10.8	26.7	40.8	15.0	2.5	-
島 根	100.0	1.9	1.3	1.3	15.6	18.8	34.2	23.1	3.8	-
岡 山	100.0	-	1.0	4.3	10.1	26.6	34.7	18.4	3.9	1.0
広 島	100.0	1.5	1.5	6.2	7.7	17.4	28.3	25.6	9.2	2.6
山 口	100.0	-	0.7	3.7	8.9	23.0	39.3	20.7	3.7	-
徳 島	100.0	-	-	2.4	12.0	48.0	30.4	7.2	-	-
香 川	100.0	-	1.7	1.7	13.9	25.2	40.9	15.7	0.9	-
愛 媛	100.0	-	-	1.7	13.3	28.3	37.5	19.2	-	-
高 知	100.0	-	-	4.6	21.5	42.4	22.3	9.2	-	-
福 岡	100.0	1.3	0.4	1.3	15.6	34.2	40.7	6.5	-	-
佐 賀	100.0	-	-	1.1	5.3	35.4	43.9	13.8	0.5	-
長 崎	100.0	1.5	0.7	2.2	13.3	30.4	38.6	13.3	-	-
熊 本	100.0	-	-	0.8	8.8	34.7	36.9	16.3	2.5	-
大 分	100.0	0.7	0.7	2.0	11.8	32.2	37.5	13.8	1.3	-
宮 崎	100.0	-	0.6	2.4	15.4	32.5	36.7	12.4	-	-
鹿 児 島	100.0	-	-	4.7	14.8	42.0	30.8	5.9	1.2	0.6
沖 縄	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

注：1 10a 当たり玄米重は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

2 10月25日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆のデータにより取りまとめたものであり、次回公表において数値が変動することがある。

3 10月25日現在で、各都道府県において設置された作況標本筆のおおむね80%以上でデータが得られた都道府県について調査結果を表章しており、それに満たない都道府県については「…」で示した。

4 東京都及び沖縄県については、作況標本筆を設置していないことから「…」で示した。

6 令和6年産水稻の作柄表示地帯別玄米重歩合（10月25日現在）

単位: %

都道府県 ・ 作柄表示地帯	玄米重 歩合	都道府県 ・ 作柄表示地帯	玄米重 歩合	都道府県 ・ 作柄表示地帯	玄米重 歩合	都道府県 ・ 作柄表示地帯	玄米重 歩合
北海道	98.2	埼玉県	96.7	兵庫県	98.2	佐賀県	97.4
石狩	98.5	東部	96.7	県南	98.4	佐賀	97.2
南空知	98.0	西部	96.8	県北	98.2	松浦	98.1
北空知	98.6	千歳	98.3	淡路	97.4	長崎	96.9
上川	98.0	京葉	98.2	奈良	97.8	南部	96.7
留萌	98.0	九十九里	98.2	和歌山	98.8	北部	96.8
渡島・檜山	97.8	南房総	98.4	鳥取	98.7	五島	98.5
後志	98.4	東部	97.5	東部	98.7	壱岐・対馬	97.4
胆振・日高	98.6	神奈川	96.1	西部	98.6	熊本	96.9
オホーツク・十勝	97.8	新潟	97.7	島根	98.5	県北	96.3
青森	98.6	下越	97.6	出雲	98.5	阿蘇	97.9
青森	98.6	中越	97.7	石見	98.4	県南	97.2
津軽	98.6	上越	97.8	岡山	98.1	天草	97.4
南部・下北	98.2	佐渡	97.9	南部	98.0	大分	96.9
岩手	98.3	富山	98.6	中北部	98.4	北部	96.2
北上川上流	98.5	石川	98.5	広南部	98.8	湾岸	97.5
北上川下流	98.3	加賀	98.8	山北部	98.7	南部	97.1
東部	98.0	福井	98.2	山口	98.9	日田	97.5
北部	98.2	福井	98.4	山東部	98.3	宮崎	97.8
宮城	98.2	山梨	98.4	徳島	97.3	広域沿海	97.5
南部	97.9	山梨	98.3	西長北	98.3	広域霧島	97.7
中部	98.3	山梨	98.7	徳島	98.9	西北山間	98.1
北部	98.2	長野	98.4	南部	98.6	早期栽培	98.2
東部	97.9	東南	98.3	南部	98.6	広域沿海	98.2
秋田	98.7	信濃	98.9	早期栽培	98.7	広域霧島	-
県北	98.8	信濃	98.3	北部	98.5	西北山間	-
県中央	98.5	信濃	97.6	南部	98.5	普通栽培	97.4
県南	98.9	岐阜	98.2	普通栽培	98.6	広域沿海	96.3
山形	98.4	西濃	98.0	北部	98.6	広域霧島	97.7
村山	98.3	中濃	98.4	南部	98.9	西北山間	98.1
最上	98.4	東濃	98.8	香川	98.4	鹿児島	97.3
置賜	98.3	飛騨	98.9	愛媛	98.4	薩摩半島	97.4
庄内	98.3	岡	98.4	予	97.5	出水薩摩	97.4
福島	98.0	知	98.8	東予	97.0	伊佐始良	97.0
中通り	98.2	張	98.8	中南予	97.7	大隅半島	97.6
浜通り	98.7	河	98.5	高知	98.4	熊毛・大島	99.0
会津	97.4	河	99.1	中部	98.1	早期栽培	98.7
茨城	98.4	三重	96.6	西東部	98.4	薩摩半島	98.4
北部・鹿行	98.4	北勢	95.1	早期栽培	97.7	出水薩摩	...
南部・西部	98.6	中勢	96.9	中部	98.4	伊佐始良	...
栃木	98.1	南勢	98.2	西東部	98.5	大隅半島	98.8
北部	98.5	伊賀	97.4	普通栽培	98.0	熊毛・大島	99.0
中部	97.9	滋賀	98.0	中部	97.7	普通栽培	97.0
南部	97.5	湖北	97.8	西東部	98.2	薩摩半島	96.6
群馬	95.6	京都市	98.3	福岡	97.2	出水薩摩	97.4
中部	93.4	南部	98.3	福岡	96.6	伊佐始良	97.0
北部	97.6	大坂	98.4	北東部	96.1	大隅半島	96.4
東部	97.1	大坂	97.8	筑後	97.6	熊毛・大島	-
					96.1	沖縄	99.1

- 注：1 1.7mmのふるい目幅で選別された10a当たり玄米重及び粗玄米重より推計したものである。
2 東京都及び沖縄県については水稻作況標準筆を設置しておらず、参考として水稻作況基準筆（10a 当たり収量を巡回・見積りにより把握する際の基準とするものとして有意に選定した筆）の結果を表章したものであり、次回公表において数値が変動することがある。
3 沖縄県については、水稻作況基準筆調査成績であるため、作柄表示地帯別の表章は行っていない。

7 令和6年産水稻の作柄表示地帯別作況指数（10月25日現在）

都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数
北海道 (103)	石狩	103	埼玉 (97)	東部	96
	南空知	103		西部	98
	北空知	103			
	上川	104	千葉 (105)	京葉	102
	留萌	105		九十九里	106
	渡島・檜山	104		南房総	106
	後志	102			
	胆振・日高	102	東京 (100)	-	100
	オホーツク・十勝	109			
青森 (103)	青森	103	神奈川 (97)	-	97
	津軽	103			
	南部・下北	106	新潟 (98)	下越	97
岩手 (106)	北上川上流	107		中越	99
	北上川下流	105		上越	101
	東部	108		佐渡	95
	北部	108	富山 (99)	-	99
宮城 (107)	南部	106			
	中部	106	石川 (99)	加賀	101
	北部	107		能登	96
	東部	107	福井 (102)	嶺北	102
秋田 (102)	県北	103		嶺南	101
	県中	100			
	県南	103	山梨 (100)	-	100
山形 (97)	村山	101			
	最上	94	長野 (101)	東南	101
	置賜	100		中信	100
	庄内	94		北信	101
福島 (102)	中通り	103		信濃	100
	浜通り	104	岐阜 (100)	西濃	100
	会津	102		中濃	98
茨城 (103)	北部・鹿行	103		東濃	98
	南部・西部	104		飛騨	100
栃木 (101)	北部	101	静岡 (95)	-	95
	中部	103			
	南部	100	愛知 (99)	尾張	99
群馬 (100)	中部	101		西三河	100
	北中部	101		東三河	100
	東部	99			

注：1 作況指数は、10a 当たり平年収量に対する10a 当たり予想収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。

7 令和6年産水稻の作柄表示地帯別作況指数（10月25日現在）（続き）

都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数
三重 (98)	北勢 中勢 南勢 伊賀	99 98 98 97	高知 (100)	中部 西部	101 97
滋賀 (100)	湖北 湖北	100 100	福岡 (98)	福岡 北東 筑後	97 94 101
京都 (104)	南部 北部	108 100	佐賀 (99)	佐賀 松浦	99 96
大阪 (99)	-	99	長崎 (102)	南部 北部 五島 壱岐・対馬	102 102 96 97
兵庫 (99)	県南 県北 淡路	99 100 103	熊本 (102)	県北 阿蘇 県南 天草	101 105 101 100
奈良 (103)	-	103	大分 (101)	北部 湾岸 南部 日田	98 103 102 102
和歌山 (102)	-	102	宮崎 (97)	広域沿海 広域霧島 西北山間	97 96 93
鳥取 (99)	東部 西部	100 99	鹿児島 (97)	薩摩半島 出水薩摩 伊佐始良 大隅半島 熊毛・大島	95 95 97 98 96
島根 (100)	出雲 石見	101 98	沖縄 (103)	沖縄諸島 八重山	102 104
岡山 (99)	南部 中北部	102 96			
広島 (101)	南部 北部	106 98			
山口 (103)	東部 西部 長門	101 103 104			
徳島 (100)	北部 南部	100 99			
香川 (100)	-	100			
愛媛 (102)	東予 中予 南予	103 101 102			

2 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通栽培を合算したものである。
また、沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県の作況指数の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。